



まごころ

“ずーっと笑顔”で安心できる、やすらぎの暮らし



大切な人

第15回

まごころの杜
白樺ユニットリーダー 塚田 恵



まごころの杜、白樺ユニットのリーダーを務める塚田さんは、入職6年目。新卒でまごころの杜に入職以来、介護職員として現場で経験を積み重ねてきた。入職当初は新型コロナウイルスの影響により2か月間のオンライン研修

を経ての現場入りという異例のスタートとなったが、その後も粘り強く学びを重ね、着実に力をつけてきた。介護職を志したきっかけには、家族の存在が大きいという。5人きょうだいの末子として育ち、看護師、美容師、管理栄養士、介護士と、それぞれに資格を持つ姉妹たちの姿が身近にあった。特に、介護士として曾祖母の介護を手伝っていた兄の姿に心を動かされたことが、進路を決める一つの契機となった。

現場に立つて初めて、想像とのギャップを感じたという。老人ホームとはいえ、動ける方が多いイメージしていたが、特養では車いすを利用する方が多く、移乗介助など初めて知る業務も多かった。さらに、食事形態やケア内容がご利用者様ごとに異なることに戸惑いつつも、一つひとつの業務を覚え、半年後には夜勤にも対応できるようになった。

やがて、介護福祉士の資格を取得。現在はユニットリーダーとして、ご利用者様が安全で穏やかに過ごせる環境づくりと、安心感のあるケアを提供できるチームづくりを目指して日々奮闘している。ミーティングではスタッフの意見を積極的に引き出し、ユニット全体でより良いケアの在り方を模索している。

成長を支える中で、チーム全体の協力と支えが欠かせないと語る。介護の現場には体力、知識、技術に加え、ご利用者様やご家族様との丁寧なコミュニケーションが不可欠だと実感している。何よりも、ご利用者様のありがたと一つ一つ笑顔や、外出時に見せるうれしそうなお表情が大きな励みとなっている。

オフの日にはショッピングで気分転換。学生時代に所属していたバスケットボール部の仲間たちと今でも時折コートに立ち、リフレッシュの時間を楽しんでいる。今後はスノーボードにも挑戦したいと、新たなチャレンジにも意欲的だ。

穏やかな笑顔と前向きな姿勢で、チームを支える塚田さん。これからも、その成長と活躍から目が離せない。

まごころコラム No.15

近年、さまざまな場面でデジタル技術の進歩を感じるようになりまし。たとえば、買い物かごを置くだけで会計が完了するセルフレジなど、その利便性を実感された方も多いのではないだろうか。私自身も、業務の中でリモート会議を活用したり、紙を使わずにオンライン上で契約書を交わしたりと、働き方の変化を日々感じています。

当施設でも、テクノロジーの導入が進んでいます。その一例が、ベッドに設置されたセンサーの活用です。睡眠の状態や起き上がりなどの動作、心拍数や呼吸の変化といった情報をリアルタイムで把握できるようになり、これまで職員が直接お部屋へ伺わなければ得られなかった情報も、パソコンやスマートデバイスから確認できるようになりました。この変化により、職員の動きやケアの質にも新たな可能性が広がっています。

「将来、事務職はAIに取って代わられる」といった話題も耳にしますが、人と人が深く関わる介護の仕事は、これからも変わらず必要とされる分野です。テクノロジーを上手に活用しながら、職員一人ひとりがスキルを磨き、やりがいや誇りを持って仕事に取り組んでいくことの大切さを、改めて実感しています。

担当…大島

ご家族皆さんが写った写真を見つめながら、満面の笑顔を浮かべておられたご入居者様。「家族のつながりは何より大切。思い出は、いつまでも心の中に残るものですね」と穏やかに語ってくださいました。その言葉に、私たち職員も支援の原点を改めて思い出させていただきました。



お知らせ まごころの杜(筑西)から

6月24日、まごころの杜地域交流室にて「まごころサロン」を開催しました。地域の皆さん15名が参加され、笑顔あふれるシルバークリニック体操の後、お茶とお菓子を囲んで交流の時間を楽しみました。その後ご希望の方には施設内を見学していただきました。次回は体操・お茶会に加えて、介護相談も予定しています。どなたでもお気軽にご参加ください！次回は7月22日(火)10:00~11:30



編集後記

大阪・関西万博が開幕し、大阪・夢洲の会場には「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現する壮大な展示が集結し、日本全体が活気づいているのを感じます。また、今年は梅雨らしい雨も少なく、いつの間にか夏本番を迎えました。冷たい麦茶や風鈴の音に涼を感じながら、体調に気を付けて、毎日の暮らしを元気に過ごしていきたいと思います。

社会福祉法人 関耀会 特別養護老人ホーム
まごころの杜

〒308-0845 茨城県筑西市西方1667 Tel. **0296-28-8556**

社会福祉法人 関耀会 特別養護老人ホーム
まごころの杜つくば TSUKUBA

〒300-2612 茨城県つくば市大砂185-2 Tel. **029-886-8710**

<https://sekiyokai.or.jp/>



まごころの杜公式
Facebook



まごころの杜公式
Instagram



満開の桜に
笑顔も満開！

今号の表紙

桜の名所「福岡堰」に車で向かった際の1コマです。

目次

- 活動紹介 2・3
- 大切な人 4
- まごころコラム 4

まごころの杜

特養&ショートステイ

紫陽花見学にお出かけ



創作活動

毎年5月に行っている恒例の創作活動。今年もご入居様は何か出来上がるのかを楽しみにしながら、真剣な表情で取り組まれています。完成した作品は施設の玄関に飾る予定ですので、ぜひご覧になってください。



少し肌寒さの残る日でしたが、職員と一緒に紫陽花の見学へ出かけました。「きれいだね。外に出るのは久しぶり」と笑顔で話されるご利用者様の姿に、私たちもうれしい気持ちに。職員の「来年もまた一緒に行きましょうね」の掛けに、「うん、また行こうね」と優しくうなづかれています。



デイサービス

活動を通して ～季節を感じる～

調理レク編

5月の調理レクリエーションでは、「こどもの日」にちなんで春巻きの皮を使った兜揚げや、柏餅風の蒸しパン作りに挑戦しました。「よく考えたね!」とご利用者様からうれしいお言葉もいただき、季節感たっぷりの楽しい時間となりました。これからは、皆様に喜んでいただける季節に寄り添った調理レクを企画してまいります。どうぞお楽しみに♪



音楽レク編

人気歌手・美川憲一さんや徳永ゆうきさんのオンラインコンサートを鑑賞しました。「さそり座の女」や「ふるさと」などの名曲が披露され、ご利用者様も一緒に口ずさみながら、笑顔で楽しまれました。臨場感あふれるひとときに、会場は温かい雰囲気になっていました。ライブの様子はInstagramにも動画を掲載していますので、ぜひご覧ください。



まごころの杜つくば

春爛漫のお花見へ

まごころの杜つくばでは、大久保公園や福岡塚さくら公園など、ユニットごとにお花見を企画し、春のひとときを楽しみました。久しぶりの外出に心を弾ませ、向かう車内では楽しい雰囲気にもまれ歌を口ずさむ声も聞かれました。公園では満開の桜が出迎えてくれ、ご利用者様の笑顔も満開に——。「また来年も一緒に来ましょうね」と声を交わしながら、心も満たされた一日となりました。



春のおやつレク ～ばたもちづくり～

全ユニットでばたもちづくりのおやつレクリエーションを行いました。ごはんを潰して丸め、あんこで丁寧に包んでいく工程に、皆さん自然と笑顔に。大きすぎて包みきれない方、きれいに仕上げた方、それぞれに個性あふれるばたもちが出来上がりました。自分で作った味は格別で、「また作りたいね」と話される姿も印象的でした。



外出レク編

5月と6月の外出レクリエーションでは、季節の花を楽しむお出かけを行いました。5月は小貝川ふれあい公園へポピー見学に。快晴の空の下、やや汗ばむ陽気でしたが、満開のポピーを目にすると「うわあ〜」「きれいだね〜」と歓声が上がり、疲れも忘れて皆様笑顔に。

6月は県生涯学習センターへ紫陽花見学に出かけました。色鮮やかな紫陽花の前に「わあ〜大きくてきれい!」と目を輝かせる姿が印象的でした。見学の後は、室内の涼しいスペースでお茶を楽しみながら、ゆったりとした時間を過ごし、ご満足いただくことができました。



保育園との初交流会

6月16日、同法人のみらいのもり保育園と初めての交流会を開催しました。当日は5歳児クラスの園児たちが来園し、朝の体操や元気いっぱいの合唱を披露してくれました。ご利用者様の近くに行き、肩たたきをしたり手を握ったりと、温かなふれあいの時間に。感極まり涙を流される方もいらっしゃり、「かわいいね」「また来てね」と、名残惜しそうに声をかける場面もありました。

